



令和8年5月20日

### 宮崎において魅力ある地域資源とは何か？ ～ 宮崎大学地域資源創成学部10周年記念事業 講座を開催～

この度、宮崎大学地域資源創成学部10周年記念事業の一環として、世界的視点からみた地域資源に着目した講座を、開催することとしましたので御案内いたします。

地域資源創成学部は、本年開創立10周年を迎えます。本学部は、研究者教員と実務家教員とが協働した実践的教育研究、宮崎県全域をフィールドとした実習や国内・海外インターンシップによる宮崎県全域で地域と一体となった協働教育を導入しています。ビジネス・地域産業、行政などの現場で、革新的な価値を創出できる人財の輩出を目指しています。

今回の講座は、2部構成になっており、第1部では世界的企業HLSグローバル(米国公認会計士事務所) 齋藤俊輔 CEOをお招きし、当該企業におけるインターン報告発表を本学部3・4年生が行います。第2部では、第1部での世界的企業でのインターン報告発表を受け、実務家と研究者によるトークセッションをします。齋藤 CEOを中心に、宮崎大学の吉成副学長、地域資源創成学部 根岸学部長を交えて「世界企業から見る魅力ある『地域資源』とは何か？」を主題としてトークセッションを行います。トークセッション終了後は、簡単なお茶菓子を会場に準備しましたので、登壇者と参加者ともにリラックスした歓談時間を設ける予定としております。

本取組を通じて、これまでの10年間にわたり本学部が力を入れて取り組んできたインターンシップ等の取り組みについて更に地域社会に向けて発信できるように進めてまいりますので、県民の皆さまへの周知並びに当日の取材についてご検討いただきますようお願い申し上げます。

#### 記

- 講座名 : 世界企業から見る魅力ある「地域資源」とは何か？  
日時 : 令和8年6月20日(土) 13:30 から (約2時間程度を予定)  
開催場所 : 錦本町ひなたキャンパス1階 コミュニティプラザ(宮崎市錦本町4-5)  
講師 : HLSグローバル(米国公認会計士事務所)CEO 齋藤俊輔氏  
参加費 : 無料

※ 詳細は別紙チラシもご参照ください。

① プロジェクトに係る問い合わせ先  
地域資源創成学部 講師 坂本敬子  
TEL:0985-58-7470  
e-mail : k.sakamoto@miyazaki-u.ac.jp

② 発信元  
企画総務部総務広報課広報係  
TEL:0985-58-7114  
e-mail : kouhou@miyazaki-u.ac.jp

# 世界企業から見る魅力ある 「地域資源とは何か？」



日時：令和8年6月20日（土）13:30～

場所：錦本町キャンパスコミュニティプラザ

参加申込6/19まで  
👉 コチラ



【企画担当】  
宮崎大学講師／税理士  
坂本敬子

世界的視点からみた地域資源に着目し、  
宮崎において「魅力ある地域資源とは何か。」を考えます。  
第一部では、学生より世界的企業でのインターン報告発表を受け  
実務家と研究者によるトークセッションをします。ご参加された  
皆様の世界的視点が開け、ある一つの解が導き出されることを期  
待して開催します。

## 【第1部】

インターン成果報告発表  
HLSでのインターン  
宮崎大学4・3年生



## 【第2部】

齋藤CEO，吉成理事，根岸学部長  
によるトークセッション  
「地域資源とは何か？」



HLSグローバル（HLS Global Co., Ltd.）  
CEO 齋藤俊輔氏（宮崎市出身）

HLSグローバルのグローバルCEO齋藤俊輔（Shunsuke Saito）氏は、企業の国際戦略を牽引するリーダーとして大きく評価され世界で活躍している。彼が掲げるビジョンは、「世界で最も信頼される会計・アドバイザリーファームになる」こと。クライアント・社員・パートナーを含む全てのステークホルダーの価値向上を目指し、地方・国内・海外を問わず成長の機会を創出している。今春、宮崎支社開設。

セッション後  
Tea Time有♪



国際連携機構 国際連携センター 吉成 安恵 機構長

世界状況が大きく変動し不透明さを増すVUCAといわれる21世紀において、日本や日本の地域もその影響に無関係ではられません。未来を担う若者が持続可能な地域社会づくりに貢献できるような国際教育の在り方を模索していきます。



地域資源創成学部長 根岸 裕孝 教授

本学部では、研究者教員と実務家教員とが協働した実践的教育研究、宮崎県全域をフィールドとした実習や国内・海外インターンシップによる宮崎県全域で地域と一体となった協働教育を導入しています。ビジネス・地域産業、行政などの現場で、革新的な価値を創出できる人材の輩出を目指しています。